

令和7年度特定設備事故届出状況（エレベーター）

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	4/20	扉に衝突又は接触	エレベーターに乗る際に扉が閉まりかけ、セーフティシューに足が当たったことで転倒。	マーケット	65歳以上	1	右大腿部負傷	不明	保守点検業者によるエレベーターの扉の安全点検実施後も問題なく作動し、扉の開閉速度も問題ないため、新たに対策を講じる予定はない。
2	5/17	扉に挟まれた	エレベーターの扉に挟まった	共同住宅	20～64歳	1	頭部負傷	入院不要	利用者の不注意による事故のため、新たに対策を講じる予定はない。
3	6/19	閉じ込め	旅客がエレベーターのかご内に28分間、閉じ込められていた。	駅舎	20～64歳	1	体調不良	入院不要	エレベーターが停止した原因は経年劣化による直流電源装置の不良によるものだったため、部品の取替で対応を行った。
4	7/7	扉に衝突又は接触	エレベーターから降りる際に足がもつれて転倒し、その際に扉と接触した。(自己申告)	マーケット	65歳以上	1	膝打撲 右肩脱臼	入院不要	当該男性から扉に接触したと自己申告を受けるが、監視カメラを確認すると、エレベーター外で足がもつれたように見える。よって、お客様の自己転倒であり、エレベーター設備に不備はなく、新たに対策を講じる予定はない。
5	7/9	扉に挟まれた	エレベーターから降りる際、戸袋に左手の人差し指、中指、薬指、小指を挟み動けなくなる。	百貨店	20～64歳	1	指の腫れ	入院不要	既にエレベーター内に事故防止のための掲示がされており、定期点検にて設備自体に不備がないことは確認しているため、新たに対策を講じる予定はない。
6	9/15	扉に挟まれた	閉まりかけたエレベーターの扉を手で押さえ、エレベーターに1人目が乗ったものの、2人目が乗った後に1人目の旅客が閉まりかけている扉を手で押さえながら降り、それにつられて2人目も降りたため、扉に挟まれた。(この間、開閉ボタンの操作なし)	ホテル	20～64歳	1	打撲	入院不要	扉開放時間の変更の検討など、対策を講じる予定である。
7	3/6	扉に挟まれた	高齢で杖を持っており、歩行スピードが遅く途中で扉が閉まり、下半身が挟まりバランスを崩して転倒。	共同住宅	65歳以上	1	頭部打撲	入院不要	扉が開いて閉まるまでの時間を30秒と長く設定するなどの対策を既に講じた。